

＜若者のデジタル写真 利用実態について調査＞

- ◆ 若者の間では、写真をデータで保存、ネットに投稿が主流
撮った写真 現像しない方が多い 8割強 / ネット上に写真を投稿したことがある 44%
- ◆ 写真を友人に共有するなら mixi 42.4%
写真共有サイトの選択基準 5割以上が“限定して公開できるから”と回答 安心感がポイント
- ◆ 若者にとって写真はコミュニケーション手段
写真を投稿する理由1位 “自分の近況を友人に知ってほしい” 53.6%

株式会社ゲイン(本社:東京都港区、代表:広瀬 篤治)は、全国の15歳～39歳の男女3,130人を対象に、「デジタル写真の利用実態に関する調査」を実施しました。

夏休みに入ると、旅行や外出が増え、写真を撮る機会も増えてきます。本調査では、デジタル写真の利用実態やネット上に写真を投稿できるサービスの利用動機などについて把握すべくリサーチを行いました。

※写真を投稿できるサービス…撮影した写真をオンライン上にアップできるサイト。写真をアップするだけの専用サイト、SNSサイト、ブログなど。

【調査結果サマリー】

【1】撮った写真 現像しない方が多い 8割強 ネット上に写真を投稿したことがある 44%

「写真の保管方法について」聞いたところ、デジタルカメラの場合は78.1%、携帯電話は97.3%もの人が「データで保管する方が多い」もしくは「現像したことがない」と答え、若者の写真の現像離れが明らかになった。また、「ネット上に写真を投稿したことがあるか」聞いたところ、「したことがある」人は全体の44%にのぼり、「したことが無いが機会があれば利用したい」と答えた人(10%)を含めると半数以上で、ネット上の写真共有サイトの需要は高いことが窺える。

【2】写真を投稿している先1位 SNS「mixi」 “友人に限定して公開ができる”安心感がポイント 半数以上

ネット上に写真を投稿したことがある人に対して「デジタルカメラ、携帯電話で撮影した写真をどのサイトに投稿しているか」聞いたところ、デジタルカメラ1位 mixi(42.4%)、2位 Yahoo!フォト(10.9%)、携帯電話1位 mixi(47.8%)、2位 アメーバブログ(8.3%)といずれもSNS「mixi」の利用が最も高かった。また、そのサイトを選んでいる理由としては、「友人や知人に限定して共有や公開ができるから」が53.2%と最も高かった。さらに「写真を投稿する際に何か不安を感じることもあるか」との問いには、約60%が「不安が無い」と答え、その理由として「見ることができる人を限定できるから」と答えた人が64%と多かったことから、写真共有サイトには、閲覧者を限定できる機能が求められていることが分かった。

【3】写真をオンライン上にアップする理由1位 「自分の近況を友人に知らせるため」53.6% 若者にとって写真は思い出を残すためのモノから、コミュニケーション手段に。

「あなたがオンライン上に写真を投稿している理由はなにか」との問いに、半数以上の53.6%の人が「友人や知人に近況を知らせるため」と答えた。次いで「友人や知人に写真をシェアするため」が19.7%となり、「友人や知人に自慢をしたいから」(2%)をあわせ、75.3%の人が“自分の近況を友人に知らせる”コミュニケーションツールとして、写真を利用していることがわかった。

＜本件に関するお問い合わせ＞

「デジタル写真 調査事務局」担当:山田 TEL:03-4570-3194

【オンライン写真共有サービスの利用実態調査】

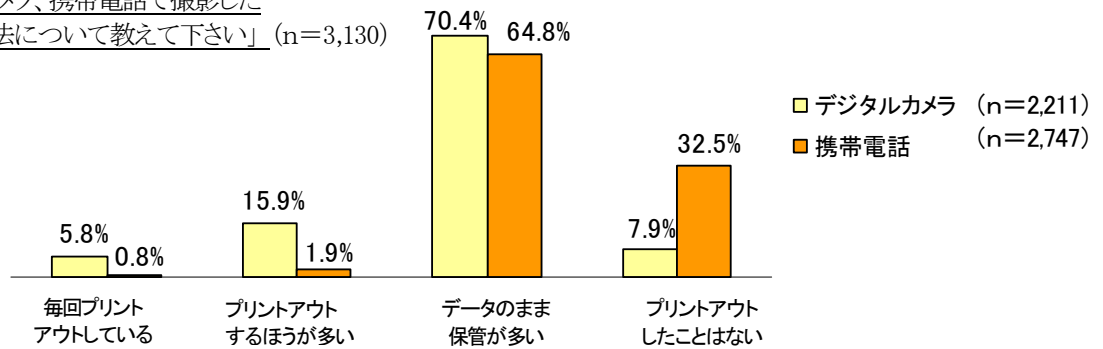
■ 調査概要

調査方法：インターネットリサーチ
 調査対象：15歳～39歳の男女
 有効回答数：3,130人
 調査日時：6月22日～6月24日
 調査機関：株式会社ゲイン

写真保存の傾向

■ 写真の保管方法 … 現像せずにデータのまま保存が主流 「現像しない方が多い」8割強

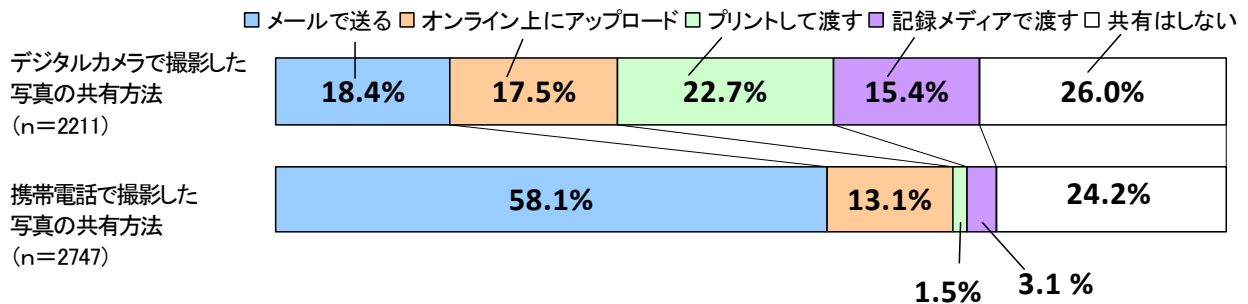
Q、「デジタルカメラ、携帯電話で撮影した
 写真の保管方法について教えてください」(n=3,130)



写真共有方法の傾向

■ 写真の共有方法 デジカメ写真と携帯電話写真で大きく異なる 携帯電話写真はメールで送るが6割

Q、「写真を友人や知人に共有する手段として主なものをひとつ選んでください」(n=3,130)

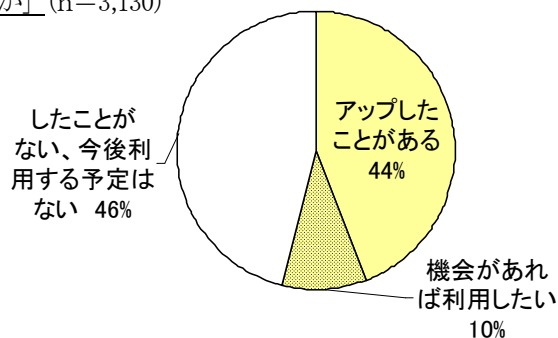


写真共有サイトのニーズ

■ ネット上に写真を投稿したことがある人 44%、「今後利用したい」を含め半数以上の需要有り

「写真をネット上にアップしたことがあるか」の問いに「ある」と答えた人は44%で、「したことが無いが機会があれば利用したい」人(10%)とあわせると半数以上となり、今後更にネットの写真共有サイトのニーズが高まることが予想される。

Q、「写真をネット上にアップしたことがありますか」(n=3,130)



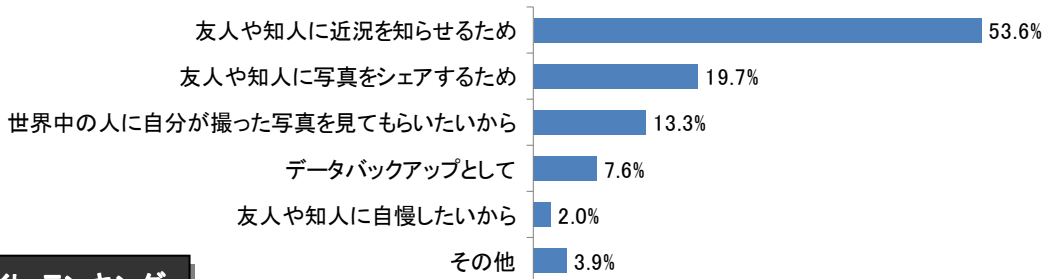
写真の利用方法

■ 写真をネット上に投稿する理由 1位「自分の近況を友人に知らせる」53.6% 手紙やメールと同じように、写真をコミュニケーションのツールとして使用

ネット上に写真を投稿したことがある人(900人)を対象に、「オンライン上に写真をアップしている主な理由」を聞いたところ、半数以上の人々が「友人や知人に近況を知らせる」ため(53.6%)と答えていることから、写真は手紙やメール同様、自分の近況を知らせるツールとして使われている実態が明らかとなった。

<ネット上に写真を投稿したことがある人 (n=900)>

Q、あなたがオンライン上に写真をアップしている主な理由は何ですか。



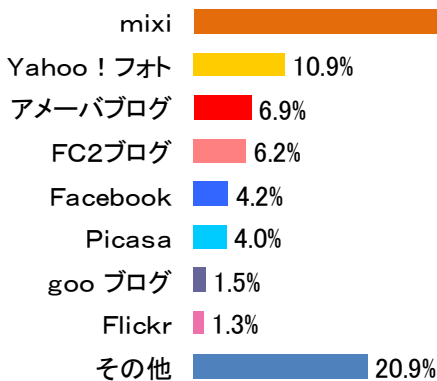
写真共有サイト ランキング

■ 最も利用されている写真共有サイトは「mixi」。 「友人に限定して写真を公開できる」という安心感が選ばれる理由に。

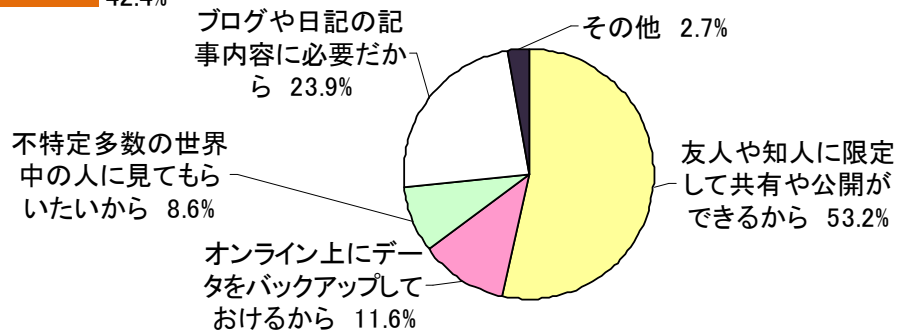
「最も頻繁に写真をアップしているサイト」を聞いたところ、デジカメ写真、携帯電話写真ともに、SNS「mixi」が1位となった。また、「そのサイトを利用している理由」について聞いたところ、「友人に限定して共有、公開ができるから」という答えがトップとなったことから、知らない人に写真を勝手に見られない、という安心感が求められていることが分かった。

<デジタルカメラ写真をネット上に投稿したことがある人(n=594)>

デジタルカメラで撮影した写真をアップする先として利用頻度の高いサイト

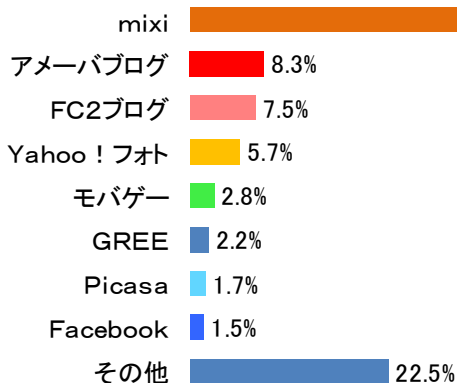


そのサイトを利用している理由

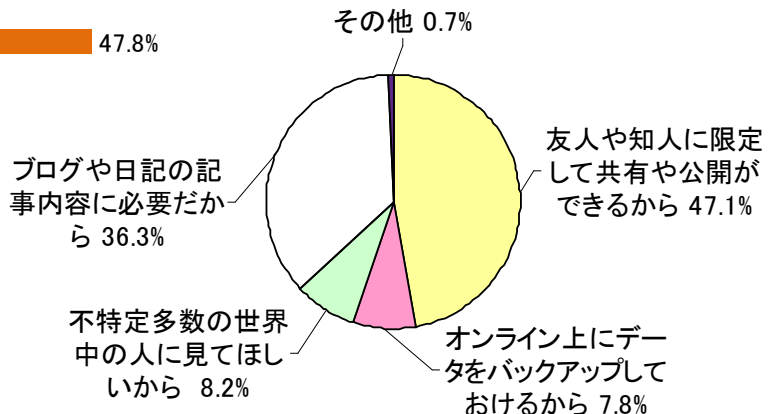


<携帯電話で撮影した写真をネット上に投稿したことがある人(n=720)>

携帯電話で撮影した写真をアップする先として利用頻度の高いサイト



そのサイトを利用している理由



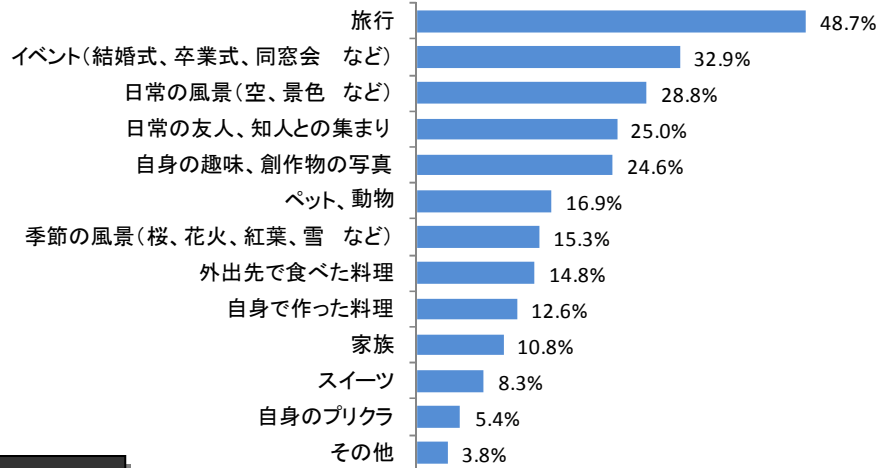
写真ジャンル

■ 旅行やイベントなど、カメラを持つタイミングでの写真が多い。

「サイトにアップしている主な写真ジャンル」を聞いたところ、「旅行」(48.7%)、「(結婚式、卒業式、同窓会など)イベント」(32.9%)とカメラを持っていくタイミングでの写真が多かった。

<ネット上に写真を投稿したことがある人 (n=900)>

Q, あなたがサイトにアップしている主な写真のジャンルをお知らせ下さい。



写真投稿に関する不安

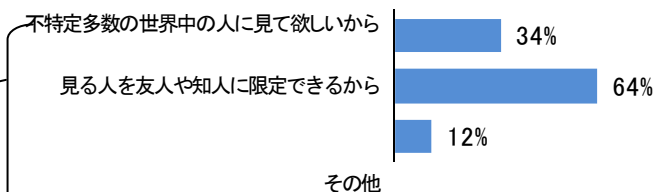
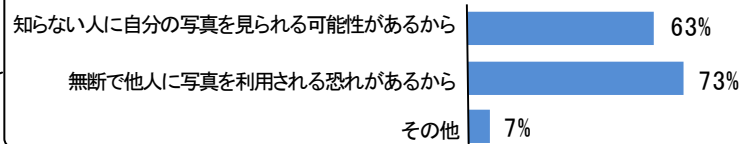
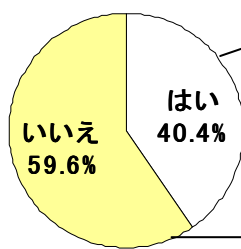
■ 他人に写真を利用される不安／閲覧者を限定できれば安心

「写真をアップする際何か不安を感じるか」を聞いたところ、「不安を感じない」が約6割で、その理由は「見ることができる人を限定できるから」(64.0%)となり、現状不安を感じていない人が半数以上となった。

また、「不安を感じる」人は、「意図せぬところで他人に写真を利用される可能性があるから」(73.1%)が多く、いずれも閲覧者を限定する機能が求められていることが窺える。

<ネット上に写真を投稿したことがある人 (n=900)>

Q.あなたはサイト上に写真をアップロードする際になにか不安を感じることがありますか。



今後求められる写真アップサービス機能

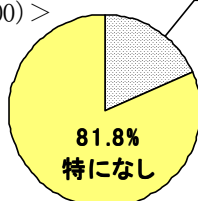
■ 現状のサービス機能に満足している人 8割以上

最後に「写真をアップできるサイトにどのような機能があったら良いと思うか」と聞いたところ、「特に無い」が81.8%となり、現状に満足している結果となった。その他では、「勝手にダウンロードできないようにする」や「誰が見たか分かるようにする」などの意見も見受けられた。

<ネット上に写真を投稿したことがある人 (n=900)>

Q.写真をアップロードするサイトに

どのような機能があったら良いと思いますか。



あったらいいと思う機能

- ・顔にモザイクをかけられる
- ・勝手にダウンロードできないようにする
- ・誰が写真を見たかわかる(アクセスログ)
- ・見る人を細かく限定できる
- ・写真サイズを自動的に変更する